

「景気動向に関するアンケート調査」報告書

令和6年3月

【調査趣旨】

神栖市商工会会員事業所の現状把握および今後の支援策について検討することを目的とする。

【調査概要】

調査時期:2024年1月～3月15日

調査対象:商工会会員事業所等

調査方法:窓口・FAX・Web アンケート

回答数:293件

【今回調査の業種別 DI】(令和5年10～12月を7～9月と比較)

単位:%

項目\業種	全業種	製造業	小売業	建設業	卸売業	サービス業
3. 景況感	△ 26.3	△ 37.0	△ 41.6	△ 18.2	△ 25.0	△ 20.5
4. 売上	△ 23.6	△ 33.3	△ 40.0	△ 18.2	△ 25.0	△ 15.8
5. 仕入(原材料)価格	64.1	59.3	69.2	68.2	75.0	59.9
6. 利益	△ 39.3	△ 44.5	△ 64.6	△ 24.3	△ 50.0	△ 32.3
7. 資金繰り	△ 26.6	△ 37.0	△ 40.0	△ 15.2	△ 12.5	△ 24.5
8. 3ヶ月先の見通し	△ 18.7	△ 14.8	△ 29.2	△ 19.7	△ 37.5	△ 12.6

<DIとは?>

DIとは、「良い」と回答した企業の割合 - 「悪い」と回答した企業の割合を算出したもので、算出したDIの数値は大きい(プラスになる)ほど景気が良くなっていると判断されます。(※仕入価格以外)

※仕入価格のDI値は、マイナスとなる事が理想だが、プラスになっていても価格転嫁が適正に行われ、利益が増加していれば問題ないと考えます。

【例】

売上DIの算出方法:集計結果 ①上昇した13.3% ②変化なし49.8% ③減少した36.9% ⇒
① - ③(13.3 - 36.9) = △23.6 となります。

仕入DIの算出方法:集計結果 ①上昇した68.9% ②変化なし26.3% ③減少した4.8% ⇒
① - ③(68.9 - 4.8) = 64.1 となります。

【アンケート結果(全業種)の概要】 ※前ページの集計に対するコメント

<景況感> 小売業で△41.6 と悪化割合が最も大きいのに対し、建設業では△18.2 と悪化割合は少なく業種間で大きな差が表れているものの、全体的には悪化していると感じている事業所が多い。

<売上> 小売業で△40.0 と全業種の中で減少割合が最も多くなっている。また、5 業種全てでマイナスとなっており、多くの事業所で売上が減少している。

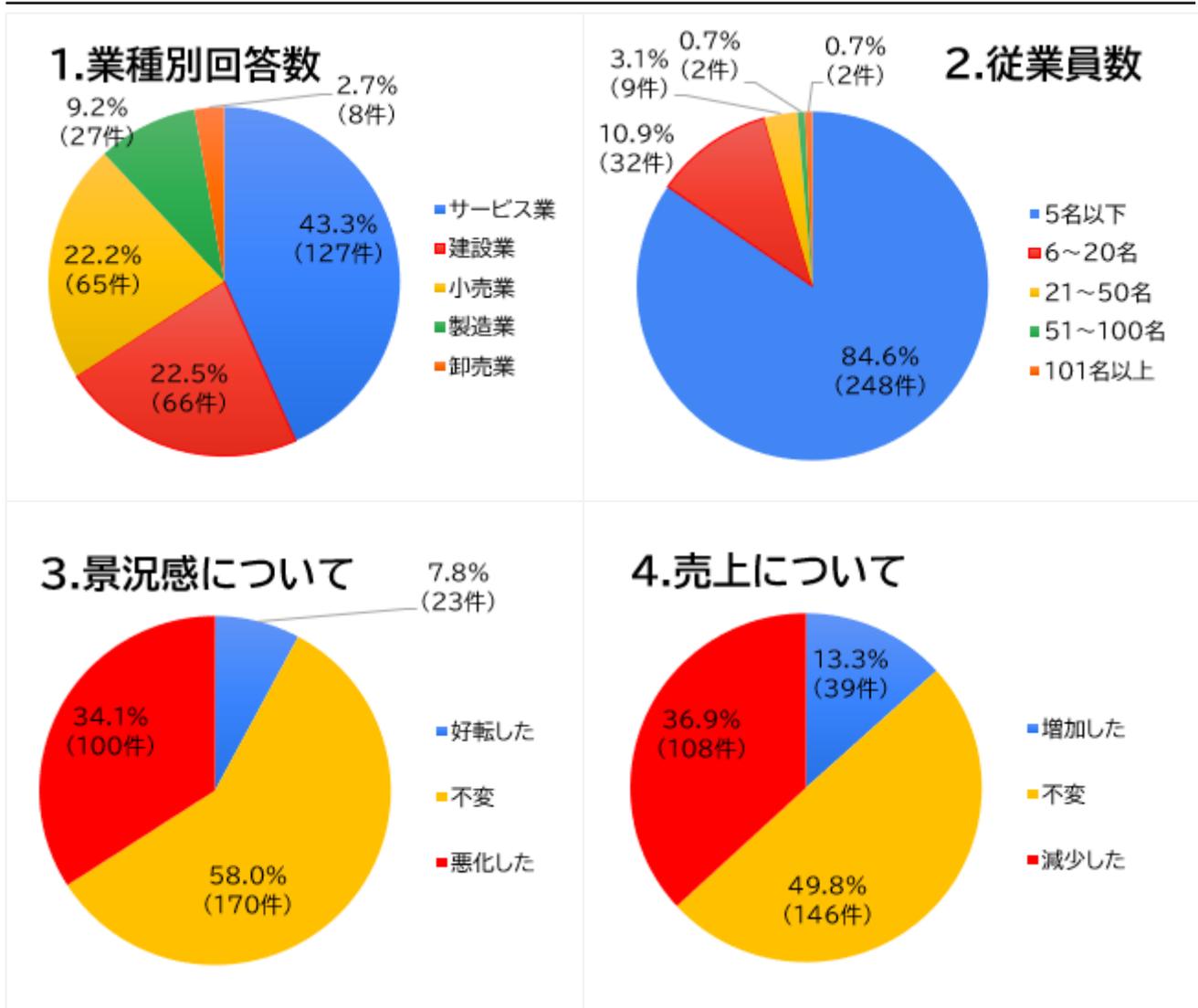
<仕入(原材料)価格> 卸売業で 75.0 と上昇した事業者が特に多く、一番数値の低い製造業でも 59.3 となっており、多くの事業所で仕入(原材料)価格の上昇が続いている。

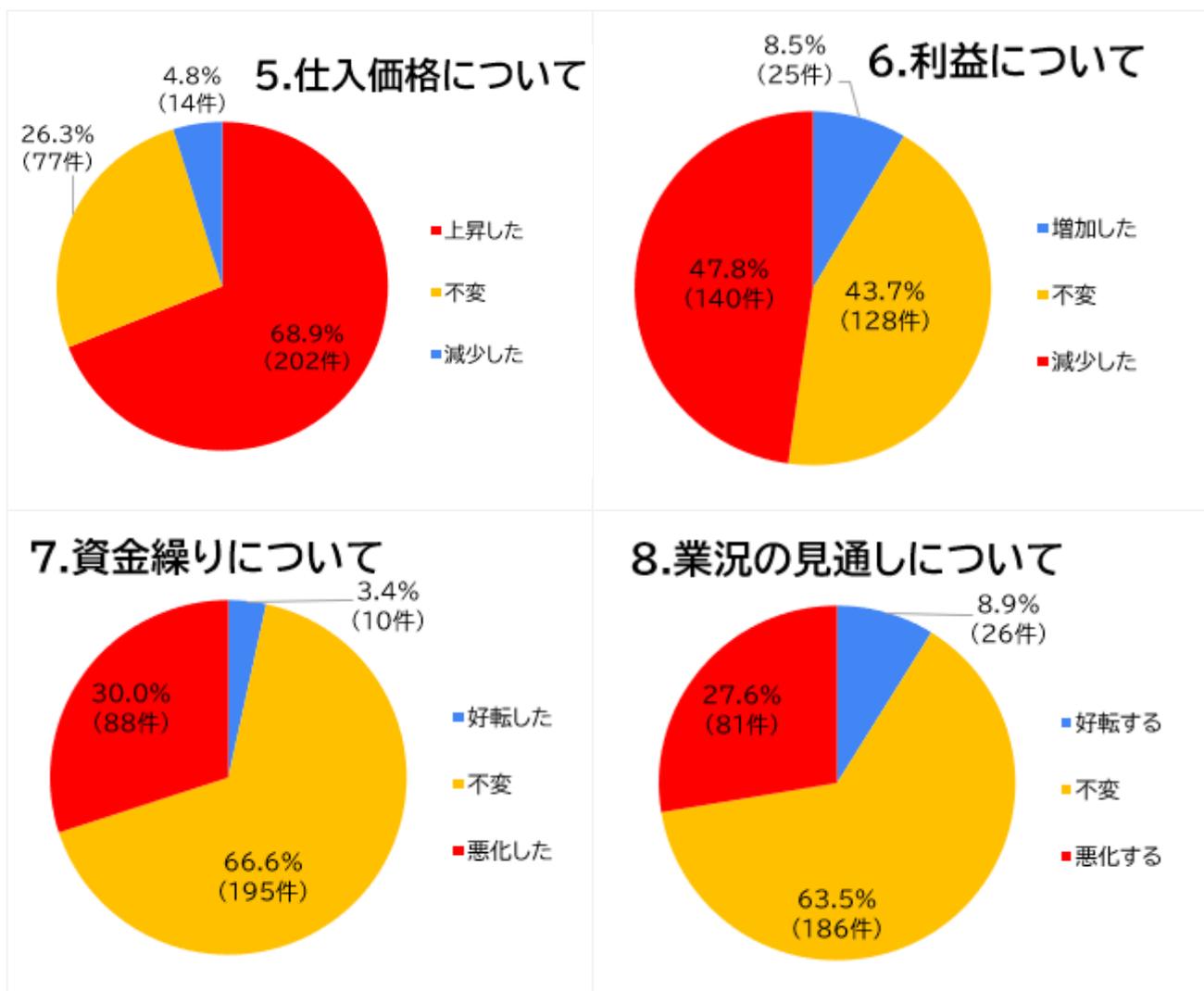
<利益> 減少割合が最も大きかったのは小売業で△64.6 と他の業種と比べると突出しており、一番減少が少なかった建設業においても△24.3 と利益が減少した事業所が多い。

<資金繰り> 小売業で△40.0 と最も悪化している事業所が多く、厳しくなっている割合が少ない卸売業でも△12.5 となっており、資金繰りが厳しい事業所が多いことが分かる。

<3ヶ月後の見通し> 卸売業は△37.5 と全業種の中で最も厳しい見通しをしているが、サービス業で△12.6 製造業は△14.8 と他の業種に比べると数値が高いものの、依然厳しい事業所が多い事が分かる。

【アンケート結果(全業種)の詳細】



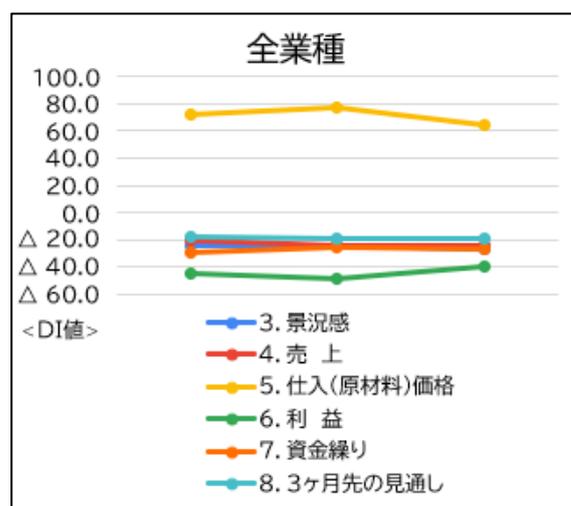


【前回調査からの推移】

[全体の概要]

項目\業種・期間	全業種		
	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 24.0	△ 24.8	△ 26.3
4. 売上	△ 20.4	△ 24.1	△ 23.6
5. 仕入(原材料)価格	72.2	77.4	64.1
6. 利益	△ 44.4	△ 48.2	△ 39.3
7. 資金繰り	△ 29.6	△ 25.5	△ 26.6
8. 3ヶ月先の見通し	△ 17.6	△ 19.1	△ 18.7

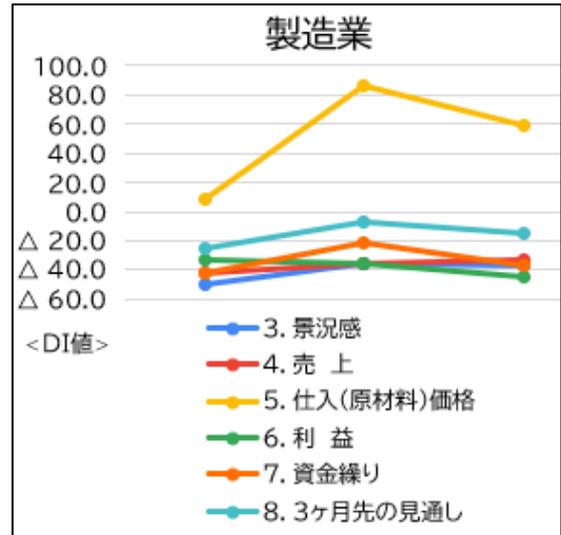
前回の結果と比べ全体的に動きは小さいが、売上は0.5ポイント、仕入価格は13.3ポイント改善となり、利益も8.9ポイント改善となった。しかし、景況感については1.5ポイント悪化しており、事業所においては今後も厳しい状況が続くと予想している。



[製造業の概要]

項目\業種・期間	製造業		
	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 50.0	△ 35.8	△ 37.0
4. 売上	△ 41.7	△ 35.7	△ 33.3
5. 仕入(原材料)価格	8.3	85.7	59.3
6. 利益	△ 33.3	△ 35.7	△ 44.5
7. 資金繰り	△ 41.7	△ 21.5	△ 37.0
8. 3ヶ月先の見通し	△ 25.0	△ 7.2	△ 14.8

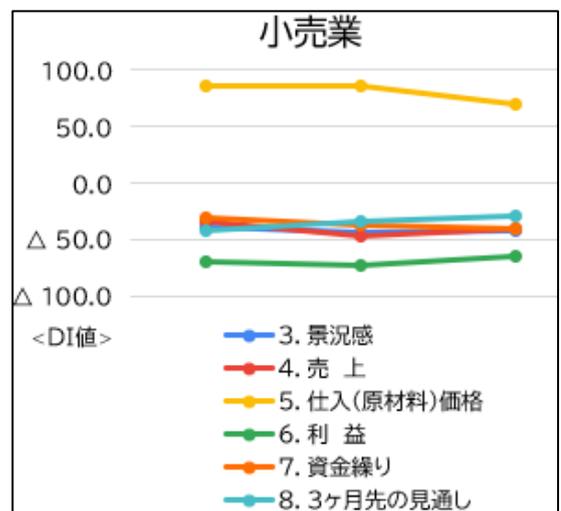
売上は 2.4 ポイント、仕入(原材料)価格に至っては 26.4 ポイント改善したが未だ利益の圧迫要因となっている。また、景況感・資金繰り・3ヶ月先の見通しはいずれも厳しい状況にあると思われる。



[小売業の概要]

項目\業種・期間	小売業		
	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 38.0	△ 43.3	△ 41.6
4. 売上	△ 34.5	△ 46.7	△ 40.0
5. 仕入(原材料)価格	86.3	86.7	69.2
6. 利益	△ 69.0	△ 73.4	△ 64.6
7. 資金繰り	△ 31.1	△ 36.7	△ 40.0
8. 3ヶ月先の見通し	△ 41.4	△ 33.3	△ 29.2

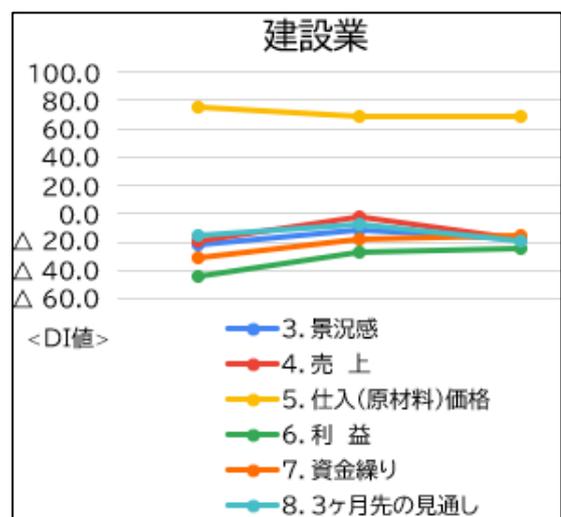
仕入(原材料)価格で 17.5 ポイント改善するなど資金繰り以外の項目でいずれも改善傾向にある。しかし改善幅は小さく、資金繰りでは 3.3 ポイント悪化している。



[建設業の概要]

項目\業種・期間	建設業		
	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 21.9	△ 11.4	△ 18.2
4. 売上	△ 18.8	△ 2.3	△ 18.2
5. 仕入(原材料)価格	75	68.2	68.2
6. 利益	△ 43.7	△ 27.3	△ 24.3
7. 資金繰り	△ 31.2	△ 18.2	△ 15.2
8. 3ヶ月先の見通し	△ 15.6	△ 6.8	△ 19.7

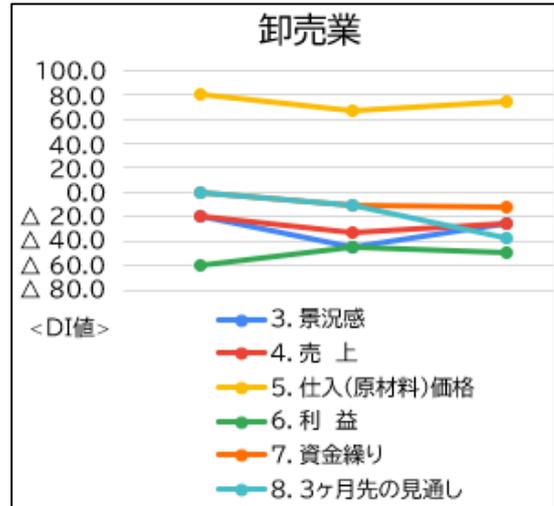
利益や資金繰りで若干の改善がみられたものの、売上が 15.9 ポイント悪化するなど、景況感・3ヶ月先の見通しのいずれも悪化している事から厳しい経営環境が続いている事が伺える。



【卸売業の概要】

項目\業種・期間	卸売業		
	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 20.0	△ 44.5	△ 25.0
4. 売上	△ 20.0	△ 33.3	△ 25.0
5. 仕入(原材料)価格	80	66.7	75.0
6. 利益	△ 60.0	△ 44.5	△ 50.0
7. 資金繰り	0	△ 11.1	△ 12.5
8. 3ヶ月先の見通し	0	△ 11.1	△ 37.5

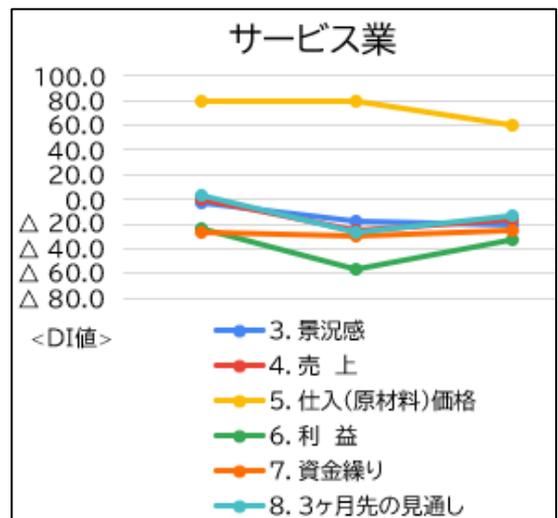
景況感では 19.5、売上では 8.3 ポイント改善したが、仕入価格では 8.3、利益は 5.5 ポイント悪化した。3ヶ月先の見通しでは 26.4 ポイントと大幅な減少となっており、更に厳しくなると感じている事業者が多い事がうかがえる。



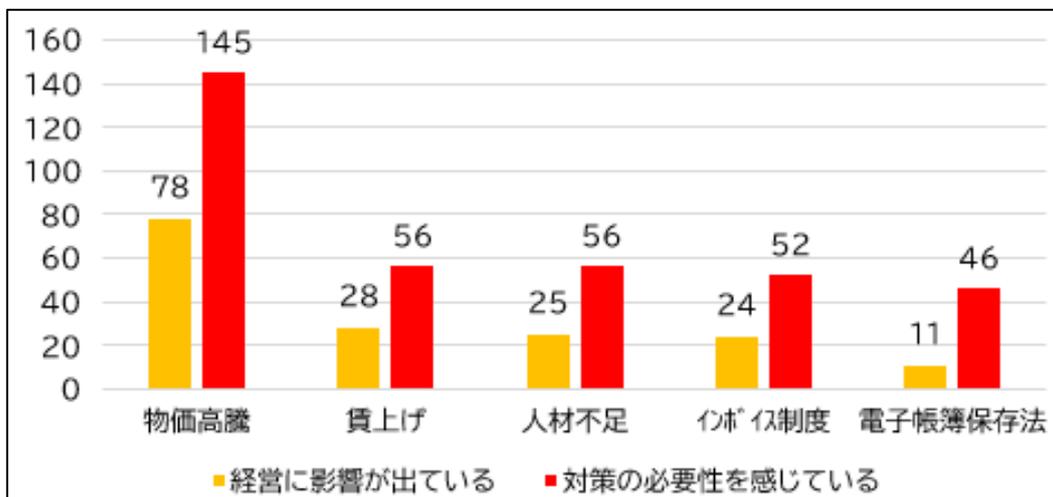
【サービス業の概要】

項目\業種・期間	サービス業		
	4-6月	7-9月	10-12月
3. 景況感	△ 3.3	△ 18.2	△ 20.5
4. 売上	0	△ 25.0	△ 15.8
5. 仕入(原材料)価格	80	79.6	59.9
6. 利益	△ 23.3	△ 56.8	△ 32.3
7. 資金繰り	△ 26.7	△ 29.6	△ 24.5
8. 3ヶ月先の見通し	3	△ 27.2	△ 12.6

景況感で 2.3 ポイント悪化したが、利益で 24.5 ポイント改善するなど景況感以外の項目で全て改善傾向にある。3ヶ月先の見通しについて、全業種の中で一番良い見通しであるが、以前厳しい経営環境となっている。



【経営への影響や対策の必要性について】



上記の結果から、「経営への影響」と「対策の必要性」の両方で、多く事業所にとって物価高騰は最も大きな課題であることがうかがえる。課題を解決するために、コスト削減や価格転嫁などの対策を講じる必要はあるが、物価高騰に加え賃上げや人材不足などが重なり、小規模事業者にとって課題を解決する事は非常に難しい課題となっている。

また、インボイス制度や電子帳簿保存法は、対応しなければならない課題ではあるが、事務作業の負担が増えるなどの懸念があり、業種や規模によって対応は異なるが、早めに準備を進め、スムーズな導入が必要と思われる。

その他、経営に影響を及ぼしている要因や、お気づきの点やご意見ご要望について

物価高騰・売上減少など

- ・コロナウイルス5類になって今後景気上昇？物価高騰？頑張るしかない、健康には気を付けたい
- ・同業者が増え値段を上げてしまうと他店に移ってしまう
- ・年をとって体が思うように動かなくなり、病院通いがおおくなり、予約のみの仕事となりましたので影響は有り、売上が下がってます
- ・コロナ以降、家賃収入が半額になりました。お店を経営している経営主さんも大変です。(お客さんがはいる、予約制にしている)人や物がもう少し活発に動くようになるといいです。
- ・近くに大手のピザチェーン開業による売上低迷が考えられるので、もう少し維持、頑張ればなんとか良いのではと考えています
- ・家賃の安価の方へのお客様がつく方向である
- ・飲酒後の代行が来るのがかかるため店を閉めて送っていくことがしばしば増えてしまう(運転代行サービスの増加)
- ・仕入等(材料高騰のため)銀行より借入等で営業している(コロナ禍より客足が戻らない)
- ・地球温暖化に伴う、気候変動で魚がとれなかったりすると仕事が減る、魚に限らず物のすべてがそういった悪循環にあっている
- ・営業日数を少なくしている
- ・法事・祝い事が飲食店で行なわれるのが少なくなった
- ・物価高がとまりません、コロナ前と比べると、景気が悪くなっています
- ・物価高は戦争が影響していると思う
- ・油の単価が上がっているが、仕事の単価は上がらなく、車内の修理分品やタイヤの価格が上がり、経営が困難である
- ・食料品やたばこ等の価格が急上昇している
- ・自然相手の商売の為難しい所がある、仕入価格の高騰
- ・天気や温度により来客数が変動、広告を出していない
- ・電気自動車の生産が増加しており、今後高額だったリサイクル部品の値段が暴落しました(5年6月以降)

インボイス・電子帳簿保存法

- ・インボイスについては、未だ良し悪しが分からない
- ・インボイス制度の導入により事務処理が大変である
- ・企業向けのサービスを作りたいが、インボイス制度により業務が煩雑化することは避けたいので、慎重になっ
てしまう

人材不足

- ・体調不良にともなう人材不足は問題、働き手に対してもっと充実した環境、賃金、休み等を対応したい
- ・少子化、コロナやインフルエンザ、お客様が少なくなっている？
- ・人材不足、資源の不足、物価高
- ・仕事がない、人材不足
- ・人材不足
- ・地域の人口減少

その他

- ・いつも親切に対応して頂き、感謝しています。
- ・工場の老朽化
- ・賃上げの経費をどこから持ってくるか不安。

アンケートにご協力いただき、誠にありがとうございました。

景気動向に関するアンケート調査結果(2024年3月)
実施・編集 神栖市商工会
お問合せ Tel0299-92-5111